

令和7年度 釜利谷地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

☐ 地域の現状と今後の方向性

コロナの自粛期間を機に、また担い手不足の問題などから、縮小されたり再開できなかった地域活動もあり地域のつながりが希薄になってきている。住民同士の支えあいや見守り体制の構築などつながりを深め、誰もが安心して暮らせる釜利谷をつくるために、地域のニーズや動きを共有し必要な支援をケアプラザ全体で行っていく。

高齢者世帯や8050世帯が増える中、情報が行き届かず孤立する方がでないように、職員が地域に出る機会を増やしたり、ケアプラザ見学ツアーやインターネットを活用するなど周知の方法を工夫することで、ケアプラザは誰でも気軽に集える・相談できる場であるということを広く情報発信していく。

☐ 今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

☐ ■ 地域福祉保健計画の目標である”誰もが安心して暮らせるまち 認め合い、助け合い、笑顔あふれる「釜利谷」”の実現に向け、ケアプラザを中心に、地域住民、事業所等で構成された会”かまりや一の”での取り組み「かまもりホルダー」や「あいさつ運動」の継続を行うとともに、この会で築きあげた住民同士のつながりや思いを継続してくための新たな場や仕組みづくりを行っていく。

☐ ■ 認知症になっても安心して住み続けられる地域を目指し、講演会や認知症サポーター養成講座を継続して開催し、あらゆる世代に認知症についての正しい知識と理解を普及啓発していく。また、釜利谷地域ケアプラザ包括エリア内の認知症キャラバン・メイト連絡会等を通じて支援者を増やしていく。

☐ ■ 住みなれた地域に住み続けるため、地域住民による活動の情報リスト「かまりやみんなの活動情報（釜利谷みんなの情報シート）」と、お買い物後の配達情報も掲載している「かまりやお買いものガイド（釜利谷みんなのお買い物情報）」の情報更新を行う。

☐ ■ ”ケアプラザは気軽に集える場・相談できる場”であることを知っていただくための「釜利谷地域ケアプラザ見学ツアー」を開催する。

☐ ■ 支援者側が感じる課題やニーズにとらわれない視点での新たな教室や講座、情報提供を行い、より多くの方に福祉・保健サービスを提供していく。また、詐欺被害が多い中、被害に遭わないための注意喚起や予防対策についての啓発をさまざまな方法で行っていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント